

奈良地区防災計画策定への歩み

～自分たちの地域は自分たちでまもる～

埼玉県防災士

○はじめに

平成29年7月に熊谷市奈良地区の自治会、自主防災会など24団体が奈良地区防災計画検討委員会を設置し活動を開始した（事務局は奈良地区在住の防災士8名が担当）。

最初に市の補助金を活用すべく市民協働「熊谷の力」事業へ応募し、8月一次審査（書類）・9月二次審査（公開プレゼンテーション）を通じて地区防災計画の目的、事業内容等の提案を行った結果、平成30年度事業として採択された。

○マニュアルの作成（4月・11月）

平成30年度の事業にあたり地区防災計画策定マニュアルを作成した。これは、本編、マップ編、安否編からなり、調査、訓練など実際の活動を通じて適宜修正を加えることとした。ほかに合同防災訓練用の実践マニュアルも作成した。



この策定マニュアル・実践マニュアルに基づき4月から12月まで、次の4つの取り組みを行った。

I 防災マップの調査・作成（6月から8月）

地図を持って、班ごとに、くまなくまち（地区）を歩き、災害時に役立つ施設や注意する場所等を確認・点検を行い2メートル大の地図に集約した。

■調査方法

班編成・・1チーム7人が原則

役割分担・班長、カメラ係、点検係（5人）

持ち物・・住宅地図、カメラ、腕章、チェックシート、飲料水等

点検項目・●青シール：避難施設（避難所、空地、高台、避難可能な3階以上の建物）

●緑シール：災害時役立つ施設等（防火水槽、コンビニ、公衆電話等）

●赤シール：災害時に注意する場所（トランクの載った電柱、冠水した場所等）

●黄シール：その他（見通しの悪い道路等）



事前説明会



地図を持ってまち歩き

この防災マップ調査には30班・約200名の地区住民が参加した。

II 災害時安否確認訓練（8月）

8月25日（日）、市の総合防災訓練の開催に合わせ、災害時安否確認訓練を行った。家族は無事という印に「黄色タオル」を門扉や玄関など見やすい場所に掲げてもらい班ごとに安否確認を行った。集約結果は、地区災害対策本部へ支部長を通じて行い、地区対策本部は、市の災害対策本部へアマチュア無線により報告した。このアマチュア無線を使用した安否確認は、本市初めての試みである。

※集約結果

タオルの表示率は83%

数字は世帯数

訪問世帯	内訳				
	安全		不在	救助が必要な世帯	その他
	タオルあり	タオルなし			
1,797	1,491	211	95	0	0



班ごとに安否確認



地区災害対策本部へ報告

III 合同防災訓練の開催（11月）

11月9日（金）奈良小学校を会場に小・中学校と地区が連携し、災害時に迅速な対応ができるよう合同防災訓練を開催した。

当日は雨のなか、児童・生徒・教員及び地区住民合わせて約350名が参加し、各班の役割分担を確認した。

■訓練種目

1 避難誘導訓練

地区ごとに指定場所へ集合し避難者数を各自主防災会長（自主防災組織がない地区は自治会長）が地区災害対策本部へ報告

2 地区災害対策本部設置訓練

情報収集、応急対策の指示等

3 避難所開設・運営訓練

(1)避難所訓練：避難者の受付、誘導、ルールの検討

(2)運営訓練：ワンタッチテントの設営、段ボールベット等の作成

(3)情報収集伝達訓練：被害状況の把握（DIG）

(4)救護訓練：煙道体験、応急救護、心肺蘇生、簡易担架作成

(5)救援物資受入・配給訓練

(6)防災資機材使用訓練：仮設トイレ組立、発電機、バルーン設置点灯



地区災害対策本部の設置



物資班（救援物資の配給）



環境班（仮設トイレ組立）



情報班（災害図上演習）

IV 地区防災計画づくり（11月～12月）

地域住民自身により自助、地域コミュニティにおける共助が、避難誘導、避難所運営等において重要な役割を果たしたことから、これまで行ったマップ調査や各種訓練の課題や成果も含めて計画づくりを行った。

地区防災計画の構成は次のとおりである。

【総則】・・・目的のほか、今後の修正方法を記載、自助及び共助を基本とし、自主防災会、事業者の役割を記述したほか、地区の自然、社会、産業や災害履歴を記載した。

【予防計画】・班、自主防災会、地区災害対策本部の体制と役割を規定した。また、備えとして、防災知識の普及、家庭での取組、防災訓練の実施、資機材等の備蓄、避難行動要支援者への支援を記載した。

【応急対策】・地区災害対策本部の設置基準のほか、組織と役割を整理し、情報収集、初期消火、救出救護、避難誘導、雪害対策の活動フローを作成した。

他に

【資料編】・・委員会要綱（名簿含む）、地区災害対策本部設置及び運営要綱のほか、資機材リスト、安否確認様式、一時避難場所リスト、避難所運営資料、連絡先を記載した。

○地区防災計画の提案（31年2月）

奈良地区防災計画は、2月20日に熊谷市長へ提案し、同月22日市防災会議において審議した結果、市地域防災計画に規定されることとなった。



奈良地区防災計画を市長へ提案（中央が熊谷市長）



3月に毎戸配布した地区防災計画書

○最後に

平成30年度は5回の地区防災計画検討委員会を開催したほか、30回に及ぶ事務打合せを行った。私たちの地区は、一連の防災計画策定を通じて、地域コミュニティの強化が図られ、防災力が向上したと実感している。今後もさらなる活動を通じて他の地区へも「地区防災計画策定」の動きが波及するよう防災活動を推進していきたいと考えている。